

組報

みなみそ

第8号

2009(平成21)年3月1日

浄土真宗本願寺派東京教区南組 大田区本羽田3-17-6 海岸寺内 TEL.3742-0921

P4・5

知っておきたい

特集

真宗作法

お仏壇

ご本尊

お梵香



大修復が完成した  
ご本山の御影堂

4月1日からお参りできます。

目次

- P2 — 仏婦総会・研修会
- P3 — 仏教壮年講座
- P8 — 浄土真宗の教章(私の歩む道)

P6 連研に参加しよう

P7 越前四箇本山、  
金沢に行こう

# 仏壇総会・研修会

## 「みんなで関わることを目指して」

### 「お寺のデイサービスから」

### 学んだこと

講師

横浜市・善了寺住職

成田 智信 師

## 「何気ない物語を共有する」

私のお寺の近くに山があつて、春には竹の子やフキが生えています。デイサービスの利用者さんが、「昔はフキの筋で毬を作つたものよ」と作つてくださったり、お茶の木が生えていると、「それでお茶を作ろう」と言つてくださいます。そんな触れ合いの

中で、本当の豊かさとは何かを教えられます。

「デイサービス」還る家ともに」を始めたのは平成十七年四月からです。だれもがいつでも還ることが出来る場所、年をとつても、障害があつても、その人らしく当たり前の生活を続けられる場所でありたいと願つています。

「私たちは関わりの中で生きています」を柱としています。仏教の言葉では縁起といいますが、人との関わりを粗末にしないように気を付けています。デイサービスは通所介護といわれ、家から通うことによつて、家の中とは別の関わりや出会いがあります。また、家に帰つたときに家族の尊さを今まで以上に感じることもできるのです。

活動の中で

気付かされたのが、世代を超えた関わりの大切さです。

近所にある

明治学院大学の先生とご縁がありまして、キャンドルナイトという、電灯を使わずに口ウソクを灯し環境問題を考えるという

集いを、六月の夏至の日にお寺でしています。大きなイベントをして若い人がたくさん来ても、そこに関わりがなければ意味はありません。「あんな面白い住職がいたよね」、「デイサービスのおじいちゃん、おばあちゃんたちも来て聞いていたよね」といった何気ない物語を共有することが大切ではないでしょうか。

お寺という場所は、そんな世代を超えた関わりができる大きな可能性を秘めているのです。

〔二〇〇八平成二十一年六月十三日  
築地本願寺「瑞鳳」参加者八十四人〕



南組のお知らせです

西光 寺 さいこうじ  
品川区大井4-22-16  
☎3777-6070

最徳 寺 さいとくじ  
大田区大森北3-18-25  
☎3761-6811

徳浄 寺 とくじょうじ  
大田区大森東1-16-22  
☎3761-4127

厳正 寺 こんしやうじ  
大田区大森東3-17-27  
☎3761-4945

久宝 寺 きゅうほうじ  
大田区本羽田3-17-11  
☎3742-0886

海岸 寺 かいがんじ  
大田区本羽田3-17-16  
☎3742-0921

福泉 寺 ふうせんじ  
大田区萩中3-27-10  
☎3742-2048

光教 寺 こうきやうじ  
大田区中央4-35-3  
☎3771-9408

専浄 寺 せんじやうじ  
世田谷区等々力6-7-10  
☎3701-4753

報身 寺 ほうしんじ  
大田区萩中1-11-16  
☎3738-0870

正覚 寺 しょうかくじ  
大田区萩中1-13-13  
☎3731-9212

延徳 寺 えんとくじ  
大田区萩中1-12-17  
☎3732-1472

福称 寺 ふくしょうじ  
大田区萩中1-12-20  
☎3738-1720

妙覚 寺 みやうかくじ  
大田区萩中1-12-29  
☎3738-3091

善永 寺 ぜんえいじ  
大田区萩中1-11-24  
☎3739-5641

真光 寺 しんこうじ  
大田区萩中1-13-16  
☎3731-5644

浄興 寺 じやうきやうじ  
大田区東矢口2-10-19  
☎3759-8673

# 仏壯講座

## 「人の心の“内”と“外”」

講師

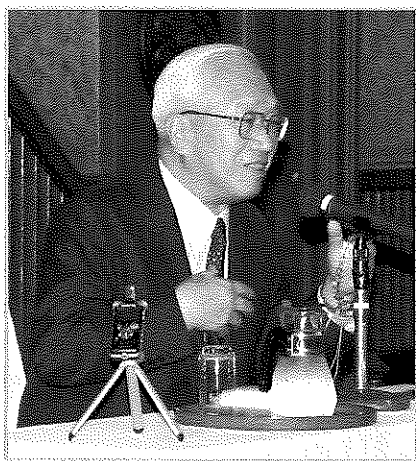
弁護士、和歌山県・玄妙寺住職

根来 泰周 師

### 「まじとの世界に生きる」

いよいよ裁判員制度が始まります。私たちは少なからずその候補者であり、実際につとめられる方もいらっしゃると思います。

裁判で求められることは真実・真相ということになります。真実とは何かと問いただしてみると難しい問題です。



現代社会は外からのしめつけ(ルール)で人間本来の判断力が鈍っているといえます。私たちの周りには情報があふれていますが、そのことがかえって真実を見えにくくしているのではないのでしょうか。今こそまさに内の判断(宗教、道徳倫理)が重要です。

親鸞聖人は、南無阿弥陀仏のお念仏のみ教えに真実があるとおっしゃっています。私たちは目の前にある我欲に流されがちです。そんな私たちに阿弥陀如来さまは、自らの心の迷いに気づき、我欲をたちきって、真実の世界に生きるように、おさとしくくださっています。これがお念仏です。

私たちは、お念仏によって自己中心

的なせまい心から抜け出して真実を見る眼をひろくとも、自分以外の人々とも生きることで、ものごとの真実を見出し、出しているのではないのでしょうか。それがお念仏とも生きるということなのです。

裁判員制度に限らず現代社会では、色々なものごとがあります。うわべだけのことに流されないよう、本当に大切なことは何かを問いただしていくこと、お念仏に導かれて自分らしい人生を送っていくことを阿弥陀如来さまは願っておられます。自分が迷っている時、悲しい時、うれしい時、手を合わせお念仏を称えさせていただきましょう。阿弥陀如来さまはやさしく私たちに声をかけてくださっています。



〔二〇〇八(平成二十)年十月四日  
築地本願寺「講堂」参加者百十一人〕

唯称寺 ゆいしょうじ

品川区小山4-9-15  
☎3782-2486

宗導寺 しゅうどうじ

目黒区目黒本町6-19-13  
☎3712-6811

西教寺 さいきょうじ

品川区豊町1-8-12  
☎3781-6154

善照寺 ぜんしょうじ

大田区南馬込4-9-11  
☎3771-8700

永正教会 えいしょうきょうかい

目黒区鷹番2-17-15  
☎3714-0767

### 総代・世話人研修会 門信徒会運動 研修協議会

総代・世話人研修会は四月五日に報身寺で行われ、総代や世話人二十人が出席。善永寺の高輪真澄住職が「総代・世話人の役割」と題して講演した。

二月二十三日には、第五回門信徒会運動研修協議会が妙覚寺で開催され、僧侶や門信徒二十九人が参加した。これは門信徒と僧侶が課題を共有し、寺院や組の活性化を図ることが目的。中央相談員の宮本義宣師が「簡素化する法要・儀礼の意味をともに考える」と題して講演した。

敬弔

延徳寺前住職

潮留 恵準 師 (七十三歳)

平成二十年七月十二日

真宗教室

特集

# 知らずにおきたい浄土真宗の作法

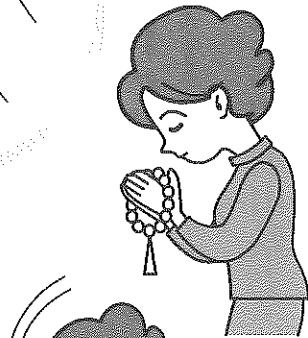
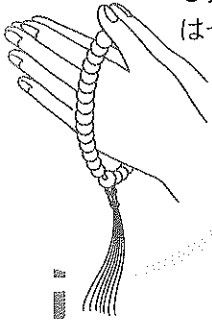
本願寺派

仏事作法のこと、皆さんはどのくらい知っていますか？ 宗派によって、お焼香の作法やお仏壇のお飾りには違いがあります。せっかく浄土真宗にご縁をいただいたのですから、自己流ではない作法を身につけていただきたいと思います。今回は一部だけですが、間違いやすいところをご紹介します。

## お焼香の作法

### 合掌・礼拝

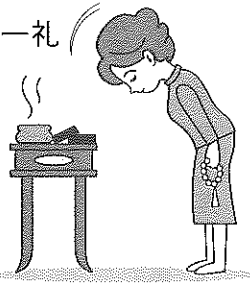
念珠は両手の親指と人さし指の間にかけます。指はそろえてのびします。



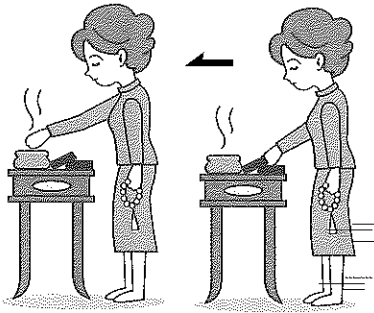
上体を傾けて礼拝。

念珠は単念珠(一輪のもの)。合掌以外の時は左手に持ちます。

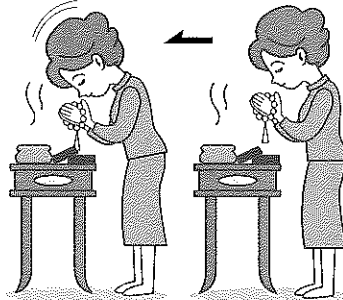
### 1 正面に一礼



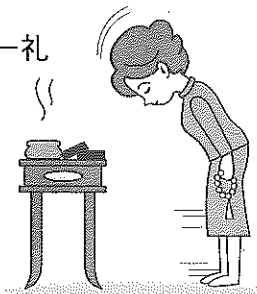
### 2 香を一回だけつまんで香炉の中へ



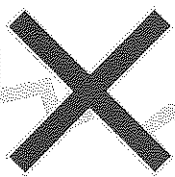
### 3 合掌・念仏・礼拝



### 4 正面に一礼



香を額に  
いただいたり  
しません



キンは  
たたきません  
※たたくのは  
読経するときだけ

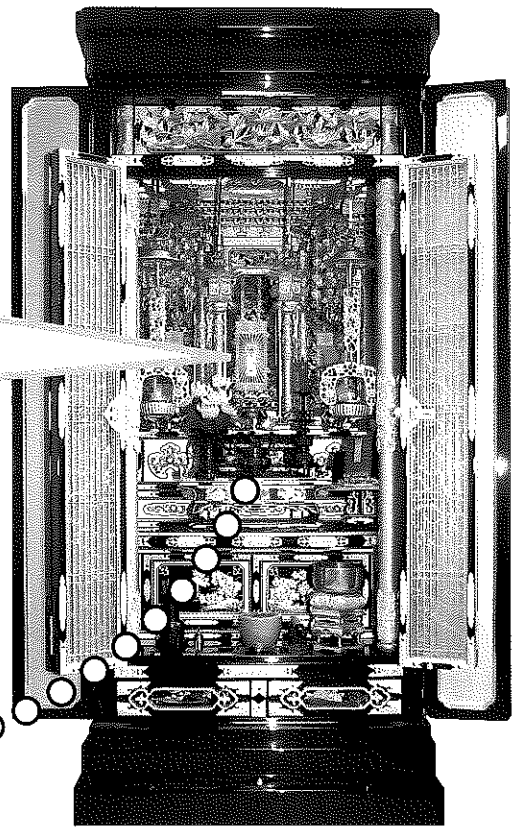


## ご本尊



● ご本尊は京都のご本山から。  
築地本願寺でもお受けできます。

## お仏壇

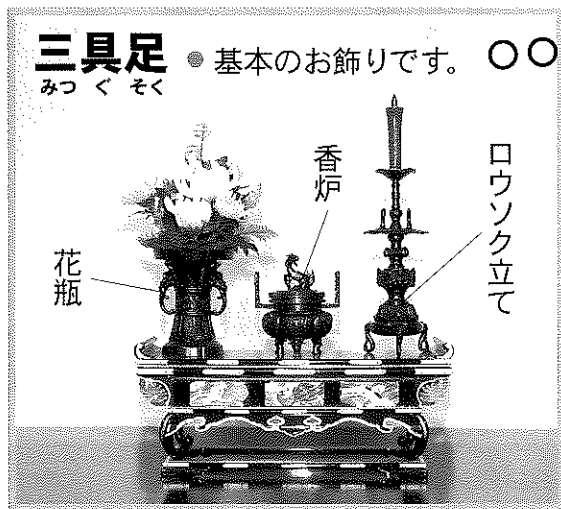


- お仏壇は阿弥陀様に感謝する場所、お浄土を表したものです。いつもきれいに心がけましょう。
- ご本尊の阿弥陀如来が中心です。お供えなどでかくなれないように。
- お供えは仏さまへのもの。水やお茶などは不要です。
- 過去帳を用いましょう。お位牌は使いません。

### 三具足

みつぐそく

● 基本のお飾りです。



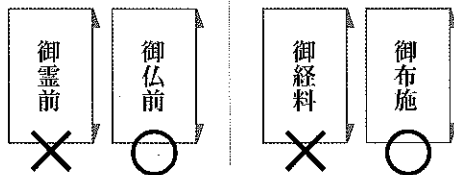
花瓶

香炉

ろうソク立て

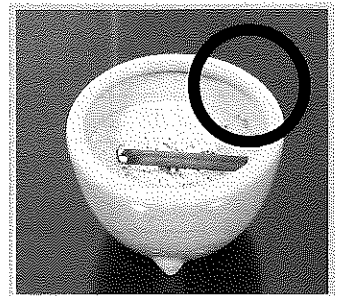
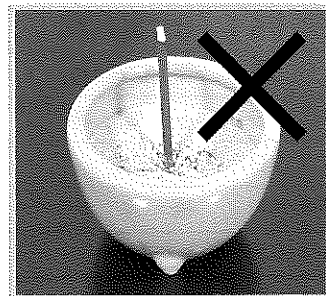
### ポイント

## 表書き



葬儀や法事などで僧侶に渡すときの表書きは「御布施」。参列するときは「御仏前」「御香典」がいいでしょう。「御経料」や「御霊前」「御供養」は間違いです。

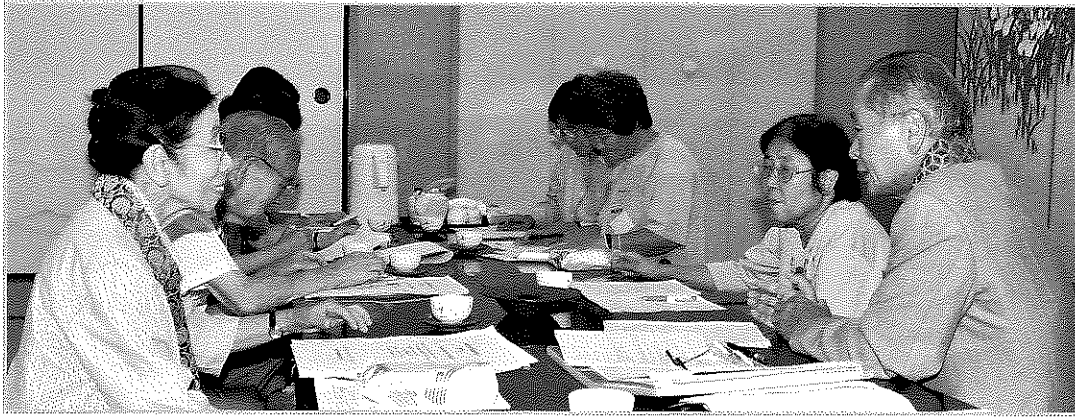
## 線香は立てない



● 線香は立てません。適当な長さに折って、必ず横にして供えてください。

※ 浄土真宗は全部で十派あり、作法には違いがあります。その他、不明な点がありましたら、お寺までお尋ねください。

# 第五期 連続研修会 全十二回



## 共感できる 仲間との出会い

四月十八日から南組第五期の「連研」がスタートします。正式には「門徒推進員養成連続研修会」といい、二年間で十二回開催されます。教えや伝統を講義で学ぶだけでなく、参加者同士が疑問や意見を出し合う「話し合い法座」が中心です。

法座はいくつかの班に分かれて、講師から掲げられた「問い」に沿って話し合われます。「お念仏ってどんな意味」「阿弥陀如来はどんな仏さま」「死んだらどうなるの」など基本的な問いを出発点に、戦争や差別、環境問題についても考えます。初めての方にもやさしく参加いただけるように工夫しています。

法座では思い切って発言してみてください。参加者一人ひとりが抱えている悩みや苦しみを語り合うことで、共感できる仲間との出会いがあるはずです。

このほか、おつとめや仏教讃歌、真宗作法の練習、築地本願寺探訪なども行います。

皆さんお誘い合わせの上、ご参加ください。支え合う仲間と共に阿弥陀如来さまの願いを学ばせていただきますよう。

参加申し込みなど詳細は、各お寺までお尋ねください。

### 連 研 日 程 表

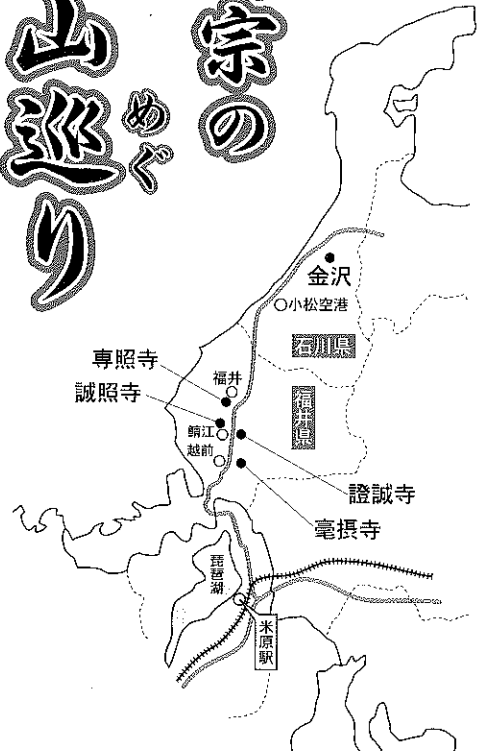
回	開催日	会 場	問 い	備 考
第1回	平成21年 4月18日	海 岸 寺	連研とは	開 会 式
第2回	6月20日	延 徳 寺	お釈迦さまの教え	
第3回	9月 5日	報 身 寺	何に向かって手を合わせますか	
第4回	10月10日	築地本願寺	未定	仏壮講座を兼ねる
第5回	12月 5日	妙 覚 寺	阿弥陀如来はどんな仏さまですか	
第6回	平成22年 2月20日	築地本願寺	築地本願寺探訪	懇 親 会
第7回	4月17日	正 覚 寺	お浄土はどんなところ	
第8回	6月19日	未定	悪人とは誰のこと	
第9回	9月 4日	福 称 寺	争いや差別をなくすには	
第10回	10月 2日	未定	親鸞聖人のご生涯	仏壮講座を兼ねる
第11回	12月 4日	未定	生きることの意味	
第12回	平成23年 2月19日	築地本願寺	これからのお寺とは	修 了 式

※基本的に土曜日の午後開催。日程や「問い」の内容は変更することがあります。

10月21日から23日の日程で団体参拝旅行を企画しました。たくさんのご参加をお待ちしています。

# 浄土真宗の ご本山巡り

## 越前四箇本山と金沢



浄土真宗のご本山は、本願寺派(西)、真宗大谷派(東)だけでなく全十派あります。今回の団参では、福井県にあり「越前四箇本山」と呼ばれる、真宗出雲路派の毫摂寺、真宗山元派の證誠寺、真宗誠照寺派の誠照寺、真宗三門徒派の専照寺をお参りします。同じ親鸞聖人の法統を受け継がれた由緒あるご本山です。金沢の観光や美味しい料理もお楽しみに。

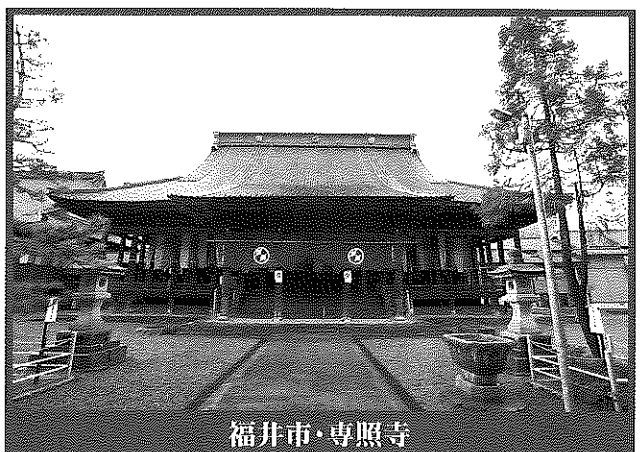
### ■主な日程■

- 21日(水) 品川駅→米原駅→毫摂寺・證誠寺・誠照寺→あわら温泉
- 22日(木) 専照寺→竹人形の里見学→山代温泉
- 23日(金) 金沢市内観光(近江市場や茶屋町の散策など)→小松空港→羽田空港

※日程が変わることもあります。詳しくはお寺まで。



福井県鯖江市・證誠寺



福井市・専照寺

### その他の 主な行事予定

#### ■仏教婦人会総会・研修会

6月8日(月)午後1時30分～  
講師 教育・心理カウンセラー  
子ども家庭教育フォーラム代表  
富田 富士也 師  
会場▼築地本願寺

#### ■仏教壮年講座

10月10日(土)午後6時～  
講師未定  
会場▼築地本願寺

# 浄土真宗の教章 (私の歩む道)

宗名 浄土真宗

宗祖 親鸞聖人

(ご開山) ご誕生 一一七三年五月二十一日  
(承安三年四月一日)

ご往生 一二六三年一月十六日

(弘長二年十一月二十八日)

宗派 浄土真宗本願寺派

本山 龍谷山 本願寺(西本願寺)

本尊 阿弥陀如来(南無阿弥陀仏)

聖典 釈迦如来が説かれた「浄土三部経」

『仏説無量寿経』 『仏説観無量寿経』  
『仏説阿弥陀経』

・宗祖親鸞聖人が著述された主な聖教  
『正信念仏偈』(『教行信証』行卷末の偈文)  
『浄土和讃』 『高僧和讃』 『正像末和讃』  
・中興の祖 蓮如上人のお手紙  
『御文章』

## 教義

阿弥陀如来の本願力によつて信心をめぐまれ、念仏を申す人生を歩み、この世の縁が尽きるとき浄土に生まれて仏となり、迷いの世に還つて人々を教化する。

## 生活

親鸞聖人の教えにみちびかれて、阿弥陀如来の真心を聞き、念仏を称えつつ、つねにわが身をふりかえり、慚愧と歓喜のうちに、現世祈禱などにたよることなく、御恩報謝の生活を送る。

## 宗門

この宗門は、親鸞聖人の教えを仰ぎ、念仏を申す人々の集う同朋教団であり、人々に阿弥陀如来の智慧と慈悲を伝える教団である。それによつて、自他ともに心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献する。

このたび、ご門主が新しい「教章」を制定されました。これまでの「教章」は昭和42年に当時のご門主(勝如上人=前門さま)が制定され、40年あまり「門徒の規範」とされてきました。

ご門主は「教章は浄土真宗の要旨であるとともに、み教えを理解していただくための手引きでもあります。身近に備え、折に触れて参照して、浄土真宗に親しんでください」と期待されています。

# 平成二十一年 年回表

(回忌) (亡くなられた年)

一周忌 — 平成二十年

三回忌 — 平成十九年

七回忌 — 平成十五年

十三回忌 — 平成九年

十七回忌 — 平成五年

二十三回忌 — 昭和六十二年

二十五回忌 — 昭和六十年

二十七回忌 — 昭和五十八年

三十三回忌 — 昭和五十二年

三十七回忌 — 昭和四十八年

五十回忌 — 昭和三十五年

百回忌 — 明治四十三年

※過去帳などでご確認下さい